

「骨折」投稿規定

1. 本誌は学術集会発表論文(原著, 症例報告), 自由投稿論文(原著, 症例報告), 依頼論文(総説など), **proceeding** を掲載し, 年4回発刊する.

学術集会発表論文: 日本骨折治療学会学術集会において発表した演題の論文

総説: 編集委員会からの依頼によるもの

原著: 基礎研究・臨床研究ともに独創性に富み, 目的と結論が明確な論文(未公表に限る)

症例報告: 臨床症例の報告(未公表に限る)

proceeding: 日本骨折治療学会学術集会において発表した演題の発表記録

(**proceeding** は学術集会発表の記録であり, 論文業績ではないため, 同一の研究報告および症例報告を他誌に投稿可能である. ただし本誌に掲載されたオリジナルの写真や図表の著作権は日本骨折治療学会に帰属する.)

【投稿資格・投稿期日】

2. 学術集会発表論文, **proceeding** の著者は共著者も含め, 日本骨折治療学会の正会員・準会員・または会長が認めたものであることを要する. なお, 準会員が筆頭著者の場合は共著者に1名以上の正会員を含むことが必要である. 自由投稿論文(原著, 症例報告), 依頼論文(総説など)の著者, 共著者は日本骨折治療学会の会員でなくてもよい. 著者の数は原則として6名以内とする. 学術集会発表論文, **proceeding** の原稿の締め切りは, 学会終了後2か月以内とし, 期日を過ぎて提出された場合は, 全て自由投稿論文(有料)として受け付ける.

【投稿方法】

3. 投稿は原則として学会専用サイト(学会ホームページよりリンク)からの電子投稿に限る. 学会専用サイトでユーザー登録後に発行されるIDおよびパスワードを用いて投稿する. OSはWindows 10以降, Mac OS X 10.12以降, またブラウザはWindowsはEdge, Chrome, MacはSafari, Firefoxを使用する

【論文形式】

4. 投稿原稿は, MS-WORD形式の単一ファイルで作成し, 「査読用の著者・所属名, 連絡先を抜いたファイル」と「印刷用の著者・所属名, 連絡先を入れたファイル」を2種類作成する. ファイル名は「査読用論文ファイル」「印刷用論文ファイル」とする.

5. 投稿原稿は, 表紙, 抄録(**proceeding** は不要), 本文, 参考文献(**proceeding** は不要), 表, 写真や図表の説明文, 写真や図表の順に1つのファイルにまとめる. 原稿は, 和文または英文とする. 印刷用論文ファイルの表紙には, 表題・所属・著者名・key words 3語・連絡先(氏名, 住所, 電話番号, FAX番号, e-mail アドレス)を, 和文原稿の場合には連絡先以外は全て和文と英文(頭文字は大文字)で記載する(**proceeding** の場合, 表題のみ英文は不要). 抄録は, 和文論文では800字以内, 英文論文では400 words以内とし, 必ず「抄録を書く前に読んでいただく注意点」を参照の上, 作成する. 統計解析を行っている場合には, 統計学に精通した者の関与を推奨する. 著者以外の生物統計家が統計解析に関与している場合には, 本文末尾に謝辞などの形で明記する. 写真や図表は別ファイルとはせず原稿の最後に貼り付ける. 投稿システムの容量に制限(10MBまで)があるため, 写真や図表はモノクロのみを受け付ける.

6. 投稿原稿は, A4縦(フォントは12ポイントMS明朝, 30~40字×20行の横書き)とし, 行数の通し番号を付ける. 論文の長さは和文・英文ともに下記限度内とする. また, 英文論文の場合, 英語を母国語としない著者は, 英語を母国語とする者に校閲を求めることを推奨する.

- ①学術集会発表論文……本文(表紙, 抄録を除く), 図表, 文献を含め 5,000 文字以内
②原著, 総説……本文(表紙, 抄録を除く), 図表, 文献を含め 16,000 文字以内
③症例報告……本文(表紙, 抄録を除く), 図表, 文献を含め 8,000 文字以内
④proceeding……本文(表紙を除く), 図表(1 点まで, 必須ではない, 組写真不可)を含め 1,000 文字以内
英文論文は A4 用紙に十分余白をとり, ダブルスペースで記載する.

<文字換算目安>

通常の大さ(刷り上がりの大さで, 縦 5cm, 横 7cm) の写真や図表は各々 1 つにつき 200 文字, 組写真も刷り上がりの大さが通常の大さであれば 200 文字と数えるが, 多数の組写真の場合は刷り上がりの大さによっても異なるが, 概ね 4 枚組で 400 文字, 6 枚組以上で 800 文字と数える.

例) 学術集会発表論文の場合

1) 表 1 つ, シェーマ 1 つ, 2 枚組写真 2 つ, 4 枚組写真 1 つの場合, $200+200+(200\times 2)+400$ で 1200 文字と換算されるため, 本文・文献は 3,800 文字までとなる.

2) 2 枚組写真 2 つ, 4 枚組写真 2 つ, 6 枚組写真 1 つの場合, $(200\times 2)+(400\times 2)+800$ で 2,000 文字と換算されるため, 本文・文献は 3,000 文字までとなる.

7. 論文には常用漢字, 新かなづかいを用い, 学術用語は「医学用語辞典(日本医学会編)」, 「日本整形外科学会用語集」に従うものとする. 数量を表す単位は cm, ml, g などを使用する. 文中の欧文は固有名詞以外の頭文字は小文字とする. 数字はアラビア数字(1, 2, …)を使い, 人名はできるだけ原語で記載する(Perthes 病, Kirschner 鋼線など).

【図表, 文献】

8. 写真や図表は各々 1 つにつき 200 文字, 組写真も刷り上がりの大さが通常の大さであれば 200 文字と数えるが, 多数の組写真の場合は刷り上がりの大さによっても異なるが, 概ね 4 枚組で 400 文字, 6 枚組以上で 800 文字と数える. 写真や図表は鮮明なものに限る. 発表時のスライドをそのまま図表にせず, 説明と図表に分け, 説明は論文の最後に別にまとめて記載する. 写真や図表の番号は図 1, 図 2… , 表 1, 表 2…を使用する. 本誌に掲載されたオリジナルの写真や図表の著作権については, 後述する(第 11 号).

9. 文献は重要なものを 10 編以内とする. ただし総説はその限りではない. 論文の最後に, 国内, 国外文献を問わず引用順に並べ, 本文中の引用箇所に見出し番号を入れる. 英文文献は頭文字以外はすべて小文字を使用し, 略記は慣用に従う. 著者が 3 名以内の場合は全著者名を記載し, 4 名以上では始めの 3 名を記載し “et al.” または “ほか” を添える. 形式は以下の例に準じる.

a. 雑誌

著者名(姓を先に). 表題. 誌名 発行年; 巻: 頁(始めと終わり).

例) 糸満盛憲, 笹本憲男, 山本 真ほか. 円筒型髓内釘ねじ横止め法による大腿骨, 脛骨骨折の治療. 日整会誌 1984; 62: 601-608.

例) Gustilo RB, Simpson L, Nixon R, et al. Analysis of 511 open fractures. Clin Orthop 1969; 66: 148-154.

b. 単行書

著者名(姓を先に). 引用した章の表題. 編集者名. 書名. 版数. 発行地: 発行所; 発行年. 引用頁.

例) Karunakar MA, Bosse MJ. Principles of external fixation. In: Bucholz RW, Heckman JD, editors. Rockwood and Green's fractures in adults. 5th ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins; 2001. p. 231-244.

【医療機器・医療材料・医薬品の適正使用】

10. 論文内容に医療機器・医療材料・医薬品の適応外使用を含む論文は原則掲載できないが、各施設の倫理審査等を受けその承認を得たのであれば考慮するので、その審査承認通知書を添付する。

例) 橈骨遠位端骨折治療用のプレートを鎖骨骨折治療に用いた。

例) 骨欠損部に骨セメントを留置した。

例) 骨癒合促進を目的にテリパラチド製剤を投与した。

【著作権】

11. 投稿原稿は和文もしくは英文とし、二重投稿・二重掲載、写真や図表の無断転載・二次利用などで他誌(記述言語は問わない)の著作権を侵害しないものに限る。本誌掲載後の著作権は日本骨折治療学会に帰属し、掲載後の他誌(記述言語は問わない)への再投稿ならびに転載・二次利用は日本骨折治療学会の許諾を要する。本誌に掲載されたオリジナルの写真や図表の著作権は、原著・症例報告・総説・proceeding いずれの場合も、日本骨折治療学会に帰属する。Proceeding は論文業績ではないため、同一の研究報告および症例報告を他誌に投稿可能であるが、オリジナルの写真や図表の転載・二次利用は、同じく日本骨折治療学会の許諾を要する。著作権に関し、著者および共著者全員が自筆署名し、会員資格と職種を明らかにした同意書を電子投稿の際、投稿ページの「その他」にPDF またはJPG ファイルとして追加添付する。著者同意書は学会ホームページ (<https://www.jsfr.jp>)の、「学会誌オンライン投稿」から各「著作同意書」をダウンロードし入手する。

【プライバシー保護】

12. 患者の名前、イニシャル、病院でのID番号など、患者個人の特定可能な情報を記載してはならない。

投稿に際しては、「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針※(外科関連学会協議会；平成16年4月6日)」を遵守する。

※https://jp.jssoc.or.jp/modules/aboutus/index.php?content_id=44

【二重投稿】

13. 二重投稿・二重掲載による著作権の侵害を避けるため、日本骨折治療学会学術集会で発表した内容の論文を英文誌へ投稿する可能性がある場合は、本誌にはproceedingとして投稿することを推奨する。なお日本骨折治療学会では、本誌に既に掲載されている優れた日本語論文を世界で広く読んでもらうために英文誌に再投稿すること、つまりsecondary publicationを下記の通り条件付きで認める。

1) 本誌に既に掲載されている、または採択された日本語論文を英文化して英文誌へ再投稿する場合、著者は著作権を持つ本学会の許可を英文誌への再投稿前に得る必要がある。さらに先方の英文誌編集委員会の許可が得られれば、本編集委員会はsecondary publicationを認める。

2) まず初めに、英文化された投稿予定論文と本誌掲載の日本語論文を本編集委員会へ送付する。英文化された投稿予定論文が、本編集委員会から依頼された査読者により、secondary publicationの条件(以下の3)～7)を満たしていることが確認された場合は、本編集委員会は英文誌への再投稿を許可する。

※ 逆に英文論文を和文化して本誌に再投稿する場合は、先方の編集委員会の許可が必要であり、先方の編集委員会許可証と英文誌掲載の英文論文、投稿希望する日本語論文を本編集委員会へ送付する。なお、以下の3)～7)は英文論文からの和文化についても同様に満たしていなければならない。

3) 英文化された論文は日本語が理解できない異なったグループの読者を意図したものでなければならない。

4) 英文化された論文は日本語論文のデータ並びに解釈を忠実に反映していなければならない。

- 5) 英文化された論文の title は日本語論文の secondary publication であることがわかるものでなければならない(complete republication, abridged republication, complete translation, or abridged translation).
- 6) 日本語論文掲載雑誌の著作権を尊重するために、英文誌への掲載は日本語論文の掲載から1週間以後でなければならない。
- 7) 英文化された論文の title page の footnote に、既に掲載された日本語論文の英文化であることを記載しなければならない。たとえば、This article is based on a study first reported in the (title of journal, with full reference)という footnote を掲載する。
- 8) 先方の編集委員会から掲載許可が得られた時点で、それを証明する掲載許可証、本誌掲載の日本語論文、掲載許可された英文論文を本編集委員会へ送付する。
- 9) 日本骨折治療学会に関係した論文業績(専門医取得条件など)としては、日本語論文と英語論文のうちどちらか一方を採用し、2編とはカウントしない。

なお、International Committee of Medical Journal Editors はガイドラインを作成し、これに従った上での secondary publication を容認している。このガイドラインはホームページ上

(<http://www.icmje.org/recommendations/browse/publishing-and-editorial-issues/overlapping-publications.html#three>)で確認することができる。この規約により secondary publication 時には内容の大幅な変更は認められていないため、英文化の予定や可能性がある論文を本誌に投稿する場合は、字数制限に余裕のある自由投稿論文として本誌に投稿することを推奨する。本規定は、すでに本誌に採択された論文を新たに英文化して英文誌へ再投稿する場合にも適用される。

【利益相反(conflicts of interest, COI)の開示】

14. 本誌は、全著者に、投稿される論文の内容に影響を及ぼしうる資金提供、雇用関係、その他個人的な関係を明示するように求める。特に研究に対して受けた企業、各種団体からの支援(金銭、物品、無形の便宜を含む)は開示しなければならない。研究内容に関わる場合は具体的に支援内容(資金、物品、人的提供、測定など、便宜供与の実態)を記載する。

【チェックリスト】

15. 投稿原稿のチェックリストを作成し、投稿される原稿の全ての過程において最終的な責任を負う corresponding author(責任著者)の署名を必ずもらい、電子投稿の際、投稿ページの「その他」に PDF (JPG) ファイルとして追加添付する。論文および proceeding のチェックリストは学会ホームページ(<https://www.jsfr.jp>)の「学会誌オンライン投稿」からダウンロードする。

【掲載までの流れ】

16. 投稿原稿の採否は、本編集委員会で決定する。修正を要するものは、書き直しを求めることがある。また、査読の結果、査読者が訂正を加えることもある。

17. 初校は著者が行う。誤字、脱字などの印刷上の誤りの訂正のみにとどめ、原稿にない文字の挿入、大幅な変更または削除は極力控える。校正刷りは、論文表紙に記載されている連絡先に郵送にて送られる。指定期日内に同封された返信用封筒にて送付する。

【費用】

18. 自由投稿論文(原著、症例報告)は、査読料として1編につき20,000円を負担する。

	学術集会発表論文		総説など	自由投稿論文		proceeding (proceeding は学術集会発表の記録であり、一般的に論文業績としては認められない)
	原著・症例報告			原著	症例報告	
表紙	表題, 所属・著者名(印刷用ファイルのみ. 査読用ファイルには不要)・key word 3語のそれぞれ和文と英文, 連絡先(印刷用ファイルのみ. 査読用ファイルには不要) (proceeding の場合, 表題の英文は不要)					
抄録	和文 800 字以内, 英文 400words 以内					抄録なし
本文 (表紙, 抄録を除く)	図表・文献含めて 5,000 文字以内	16,000 文字 以内	16,000 文字 以内	8,000 文字 以内	図表含めて 1,000 文字以内	
参考文献	10 編以内, 投稿規定通りの表記で引用順に文献番号を付ける					文献なし
(原稿には, 通し行数番号を欄外に必ず付けること)						
図表	モノクロで鮮明なものを用いる. 必ず本文の MS-WORD ファイル上に貼り付け, 単一ファイルにして投稿する(文書と図表を含めた MS-WORD 単一ファイルでの提出のため, 学会専用サイト画面の「図・表」の欄からはアップロードしないこと)					
上記データ	電子投稿の際に, 上記データ(表紙・抄録・本文・参考文献・図表)を1つの MS-WORD ファイルにまとめたものを学会専用サイトの「論文の投稿」画面中段以下の「論文ファイル」の「参照」をクリックしてアップロードする					
論文受付	学術集会2か月後厳守 (締め切りを過ぎた場合は自由投稿論文(有料掲載)となる)	—	随時	随時	学術集会2か月後厳守	
費用	無料	無料	1編につき 20,000 円		無料	

注1) 著者全員が自署した「著者同意書」, および投稿される原稿の最終的な責任を負う責任著者である corresponding author が署名した「チェックリスト」は, 電子投稿の際にそれぞれの PDF (JPG) ファイルを学会専用サイトの投稿ページの「その他」へ追加して添付する.

注2) 著作権の侵害に該当する写真・図表の本誌への投稿や本誌掲載後の他誌(記述言語は問わない)への無断転載, 本誌または他誌(記述言語は問わない)への論文の二重投稿・二重掲載が疑われた場合には, 事例ごとに理事会で審議し, 罰則(掲載取消, 公開差し止め, 一定期間の投稿停止・会員資格停止, 所属施設への通告, など)を協議し決定する.

一般社団法人 日本骨折治療学会 事務局

一般社団法人 会議支援センター

〒104-0041 東京都中央区新富二丁目 4 番 14 号 新富田所ビル 4 階
日本骨折治療学会電子投稿専用サイトは日本骨折治療学会ホームページ
(<https://www.jsfr.jp>)よりリンク.

2024 年 4 月 改訂

一般社団法人 日本骨折治療学会 編集委員会